

国史跡田熊石畑遺跡整備基本計画の要点

◎田熊石畑遺跡の歴史的価値

◇全国最多級の

武器形青銅器が出土

・弥生時代中期(紀元前2世紀)の墓域から、有力者の宝器「青銅製武器」が大量出土、墓からの出土では全国最多級。

◇北部九州を代表する

有力集団が存在

・有力者墓の空白地域であったが、吉野ヶ里遺跡などの同様な墳墓に肩を並べる有力者集団の存在を証明。

◇宗像海人族のルーツ

・朝鮮半島や日本海・瀬戸内地域と交流を持つ集団。海を介して活躍する海人集団の発展過程を示す遺跡として重要。

◇国史跡に指定(平成22年2月22日)

◎史跡整備の7つの方針

史跡の確実な
保存・管理

文化財保護
の象徴

市民参加による
手づくり整備

弥生の空間再
現、学びの場

地域づくり、
憩いの空間

宗像遺産ネット
ワークの野外
拠点

世界遺産の構
成資産として
アピール

◎整備・活用の展開

◎市民参加による整備・活用



整備 鳥瞰図



市民参加による芝植え

◎活用(案)

- ・市民や地域の祭りなど多彩なイベントを開催。
- ・市民参加で植栽、住居復元等手づくり整備を実施。
- ・学校と連携し、遠足などのイベントや歴史体験学習に活用。
- ・史跡案内や管理などボランティア活動の場。
- ・市内コミュニティ、各団体、関連部局と連携し、利活用促進。
- ・むなかた電子博物館との連携で情報発信。
- ・緑を楽しみ、散歩や健康づくりの場としてもPR。

…etc.